

新型コロナウイルス感染症拡大による 兵庫県下の博物館の臨時休館および再開館後の対策

橋本佳延¹⁾

Temporary closure to prevent the transmission of the novel coronavirus infection (COVID-19) and the countermeasures against the COVID-19 after reopening of the major museums in Hyogo Prefecture during the spread of the COVID-19 pandemic in Japan

Yoshinobu HASHIMOTO¹⁾

要 旨

日本で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者が確認された2020年1月から感染者数の増大を経て小康状態に至った2020年6月下旬までの期間における、兵庫県下の97館の博物館の臨時休館状況と再開館後の感染症対策項目について、各館のホームページとソーシャルネットワーキングアカウント上の情報を元に調査した。結果、臨時休館開始日は最も早い館で2月26日、最も遅い館で4月24日であり、4月7日から4月24日に休館を開始した館が56館と最も多かった。臨時休館日数は、最短で21日、最長で120日、46～60日間休館した館が32館と最も多かった。再開館後の感染症対策項目で多くの館が実施していたものは「マスク着用」、「体調不良・発熱する方の入館拒否」、「入口等でのアルコール手指消毒」、「入館時の連絡先聴取」、「ソーシャルディスタンスの呼びかけ」、「混雑時の入場数制限」、「検温」だった。

キーワード：マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンス、入館拒否、入場数制限、緊急事態宣言

(2020年7月28日受付, 2020年10月22日受理, 2021年1月20日発行)

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月に中華人民共和国湖北省武漢市において確認されたもので、WHOが2020年1月30日に国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言した感染症である（国立感染症研究所感染症疫学センター、2020）。新型コロナウイルス感染症は、発熱、咳、強い全身倦怠感などの初期症状を伴い、肺炎になると息苦しさや胸の痛みを感じ、重症化して死に至る可能性がある疾病であり、飛沫感染や接触感染によって広がる分かっている

が、未知の部分が多く、有効な治療薬やワクチンが現時点で存在しない（亀田、2020）。2020年6月10日12時現在の感染者数（死亡者数）は世界で7,318,329例（415,097例）、日本国内ではPCR検査陽性者17,292例、うち死亡者920例が報告されており（国立感染症研究所感染症疫学センター、2020）、国内外で猛威を振るっている。

日本国内においては新型コロナウイルス感染症の感染者が確認された1月16日以降、感染症が全国規模に拡大したため、政府はその抑制を目的として外出自粛や休業要請など国民の様々な社会活動を制限する緊急事態宣

¹⁾ 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部 669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目
Division of Ecological Restoration, Museum of Nature and Human Activities, Hyogo; 6 Yayoigaoka, Sanda, Hyogo, 669-1546 Japan
quercus@hitohaku.jp

言を4月7日に発出した(5月25日に全国的に解除)。緊急事態宣言解除後も感染症の完全終息には至っていないため、その拡大防止のための「新しい生活様式」(新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年5月4日))を適用しながら、社会活動の制限を段階的に緩和するとともに、予測されている新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波(亀田, 2020)へ備えることが求められているところである。しかしながら、日本では、2002年に中国南部の広東省を起源に世界的規模で集団発生した重症急性呼吸器症候群(SARS)(重松・岡部, 2005)や2012年9月以降に世界で患者が報告されている中東呼吸器症候群(MERS)(国立感染症研究所, 2019)などの世界的規模で問題となった感染症の、国内での蔓延を逃れたこともあり、新型感染症の厄災への博物館施設の対応についての前例がなく、その記録や資料が存在しない。

この状況下において、博物館、美術館、郷土館、科学館などの施設(以下、「博物館」とする)も臨時休館を余儀なくされ、再開後も様々な制約の下で感染症拡大防止の対策を図りながら、段階的に事業を再開している。再開にあたっては、全国の博物館員は、国際組織や政府、業界団体から随時発信される断片的な情報を収集し、SNS等を活用し博物館同士の情報共有を行いながら(例えば、Facebookグループ ミュージアムの新型コロナウイルス対応情報共有や、Facebookグループ 博物館再開のための自然史学芸員 Zoom 不定期ミーティング)手探りの状態に対応にあたらざるを得なかった。

このような全国規模の厄災の下、国内の博物館がどのような対応をせまられ、どのような対策を講じて再開を果たしたかについて記録し、後世に資料として残すことは、今後、同様の厄災に直面した際に対応にあたる博物館員に有用な判断材料を提供するために不可欠と考えられる。

そこで本稿では、日本国内の新型コロナウイルス感染症の第1波が小康状態になったと考えられる2020年6月中旬を区切りとして、兵庫県における主要な博物館が、新型コロナウイルス感染症拡大により、どの程度長期の臨時休館を余儀なくされたか、また再開にあたってどのような感染症対策を講じたのかを調査し取りまとめたので報告する。

新型コロナウイルス感染症の国内での影響の概要

新型コロナウイルス感染症に関する世界、国内、兵庫県内での動きについて付表1に、全国と兵庫県におけるPCR検査陽性者数の変化(単日)を付図1に示し、

これらをもとに新型コロナウイルス感染症の影響の概略をまとめた。

新型コロナウイルス感染症は2020年1月14日にWHOがその存在を確認したことを公表し、1月16日には日本国内での初の感染者が確認されたことで、日本国内でもそのリスクが認知されるようになった。

世界的な動向では、1月23日に中国が国内(武漢)での拡大を防ぐために都市封鎖を実施し、1月30日にはWHOが国際的な緊急事態と宣言、世界的な感染拡大への警戒を強めた。しかし警戒を強めたのは裏腹に世界的に感染症が拡大し、3月11日にはWHOがパンデミックとの評価を公表するに至り、その影響は現在もなお終息の見通しが立っていない。

国内では、WHOの国際的な緊急事態との宣言以降、感染症対策本部の設置、指定感染症への指定などの対策準備が進められてきた。しかし、2月3日に乗客の感染が確認されたクルーズ船の横浜港への入港に伴う防疫に政府が対応する中、2月13日に国内での初の感染者の死亡例が確認されるなど、感染症は拡大傾向へとシフトした。そのため、全国で感染拡大への警戒が強められ、2月28日には感染者数の増加が顕著であった北海道で県独自の緊急事態宣言の発出、全国の小中高校への3月2日からの臨時休校を政府が要請、4月7日からは一部の地域を対象に、4月16日からは全都道府県を対象に緊急事態宣言の発出などが行われ、以後、緊急事態宣言が全面的に解除された5月25日までの1ヶ月以上にわたり、教育現場だけでなく、あらゆる業種・分野の社会機能が大きく制限される状況となった。この影響で全国各地の、博物館の活動も制限され、臨時休館やイベントの中止などが続いた。

5月25日に全国での緊急事態宣言は解除となったものの、国内での新型コロナウイルス感染症への警戒が必要な状況が続くため、政府は緊急事態宣言下でかけられていた国民の社会的な活動の制約については段階的に緩和することとし、その緩和の目安を公表、新規感染者の発生も小康状態となった6月18日からは全国的な全都道府県をまたぐ移動の制限を緩和するに至った。

兵庫県下においては、1月28日に新型コロナウイルス感染症警戒本部が設置された。3月1日に県内初の感染者が、3月11日に初の死亡者が確認されるなど、以後、感染症の拡大が続いた。学校教育、博物館活動に関わる対応としては、国の要請に呼応し3月3日からの県立学校の臨時休業を開始、数度の延長を繰り返して5月31日まで公立学校で臨時休校の措置がなされ、博物館を含む県立の社会教育施設についても3月4日から5月31日まで臨時休館(途中、一度の再開館を行ったものも含む)の措置がなされた。

5月21日に緊急事態宣言の対象地域から解除され、

5月25日には全国の緊急事態宣言が解除されたことから、6月1日より公立学校の臨時休校が解除され、6月14日までの分散登校期間を経て6月15日から通常授業が再開となり、学校教育の機会は回復に向かった。

方 法

調査対象は兵庫県博物館協会に加盟し、兵庫県博物館協会HPに掲載されている博物館のうち、公式ホームページがある97館を対象とした。

本調査では、新型コロナウイルス感染症拡大の第1波の終息の時期を、政府が全国を対象として都道府県をまたぐ移動についての外出自粛要請を緩和した2020年6月19日とみなし、2020年1月1日以降から7月4日の期間における各博物館の臨時休館期間および再開館時の感染症予防対策についての情報を、各館の公式ホームページ（HP）およびソーシャルネットワーキングサービス（SNS）アカウントを閲覧して収集し、一覧表にまとめた。なお、公式HP・SNSに臨時休館開始日および再開館日の記載のない館に対しては、直接問い合わせで確認した。情報収集は2020年6月20日から7月4日にかけて行った。

一覧表では、臨時休館期間と感染症対策の2つに大別して記録した。臨時休館期間については、臨時休館開始日、再開館日、休館日数の3項目について記録した。なお、臨時休館を複数回実施したものについては、最後に実施した臨時休館の開始日および再開館日を記載した。

感染症対策については、各館が掲げる感染症対策を「入場時の制限」「入場時の来館者への要請」「館内での来館者への要請」「密集低減対策」「設備使用とサービスの制限」「密接低減対策」「密閉低減対策」「感染源抑制」の8つの大項目に分類し、さらに各大項目内にて具体的な対策内容が分かる小項目の類型化を行った。

感染症対策においては、来館者に対して様々な行動制限や協力を要請するものが存在し、その要請のレベルに

は強弱がある（例えば、入館を拒否する場合と来館者の自粛を依頼する場合、マスクの着用を必須とする場合と着用の協力を要請する場合など）。しかし、各館のHP、SNS上での記載では、来館者からもたれる印象を和らげる配慮から直接的な表現が避けられ、多様な語尾表現が用いられており、実際の現場における感染症対策運用上の強度と一致しない可能性は否定できない。そこで、本調査では、各語尾表現が示す要請の強度の判断のための基準を表1のように定め、文章の前後の文脈も勘案して、その強度を判断し、記録した。

結 果

臨時休館実施の状況

新型コロナウイルス感染症拡大による兵庫県下の主要な博物館施設における臨時休館期間および再開館時の感染症対策の結果を表2に、臨時休館期間ごとの館数を図1に示す。調査対象の97館のうち、5館については展示リニューアルなど新型コロナウイルス感染症とは関係のない事由で休館していた（表2）。以下の解析にはこの5館を除く92館を対象とした。

臨時休館期間についてみると、臨時休館開始日は、最も早く開始した館で2月26日、最も遅く開始した館で4月24日であった。

臨時休館開始の時期は、2月29日から3月1日にかけて（臨休時期①）開始した館が6館、3月2日から3月12日にかけて（臨休時期②）開始した館は23館、3月20日から4月6日にかけて（臨休時期③）に開始した館は6館、4月7日から4月24日にかけて（臨休時期④）開始した館は56館だった。臨休時期①については2月27日に首相が3月2日からの全国全ての小中高校に臨時休校要請の考えを公表したことに、臨休時期②は多くの自治体で臨時休校が開始したことに、臨休時期③については、3月19日に大阪府・兵庫県が3連休の大阪府・兵庫県外への往来ならびに府県内の外出自粛を要請したことに、臨休時期④は4月7日に政府が

表1 本調査における、感染症対策の来館者への要請文の語尾表現と要請強度の対応の判断基準。

表記	強度	意味	例
(～することを)お願いします	要請	協力を依頼するが、来館者に最終判断を委ねるもの	マスクの着用をお願いします。手指消毒をお願いします
～ください	要請	協力を依頼するが、来館者に最終判断を委ねるもの	消毒液をご利用ください
～いただきます	必須	来館の必須条件とするもの	連絡先を提出いただきます
実施します	必須	来館の必須条件とするもの	検温を実施します
必ず～をお願いします	必須	来館の必須条件とするもの	必ず入館時の手指消毒をお願いします
必ず～してください	必須	来館の必須条件とするもの	必ずマスクを着用してください
～が必要です	必須	来館の必須条件とするもの	入館前の体温測定が必要です
～をお断りします	拒否	来館者の判断を委ねず、館が判断を下すもの	入館をお断りします
～をご遠慮ください	拒否	来館者の判断を委ねず、館が判断を下すもの	来館をご遠慮ください
～を控えてください	拒否	来館者の判断を委ねず、館が判断を下すもの	飲食を控えてください

緊急事態宣言を発出したことに、呼応していた。

再開館の状況をみると、再開館開始の時期は、5月7日から13日にかけて（再開時期①）再開した館は2館、5月18日から5月20日にかけて（再開時期②）再開した館は14館、5月21日から5月31日にかけて（再開時期③）再開した館は20館、6月1日から16日にかけて（再開時期④）再開した館は45館、6月17日以降に（再開時期⑤）再開した館は5館であった。再開時期①は4月7日に政府が緊急事態宣言を発出し、期間を5月6日までとしたことや、4月13日に県が県立学校の臨時休業を5月6日まで延長を決定したことに呼応していた。再開時期②は5月14日に政府が39件の緊急事態宣言を解除したことに、再開時期③は5月21日に緊急事態宣言が関西地域で解除されたことに、再開時期④は6月1日から兵庫県下の公立学校の臨時休校が解除され分散登校が開始したことに、再開時期⑤は政府が都道府県をまたぐ移動について6月18日から全国を対象に緩和する目安を発表したことに、呼応していた。

休館日数についてみると、調査対象のうち6館については、臨時休館からの再開館を果たせていなかった。臨時休館日数については、最短で21日、最長で120日で、臨時休館日数が46～60日の館が32館と最も多く、次いで31～45日の館が20館、76～90日が16館であった（図1）。

各館の感染症拡大防止対策の状況

再開館時の感染症対策について、大項目別にみると、入館時の制限の項目では、「体調不良・発熱する方の入館拒否」、「団体受入の休止」、「直近2週間以内の感染拡大国・地域渡航者への入館拒否または来館自粛要請」、

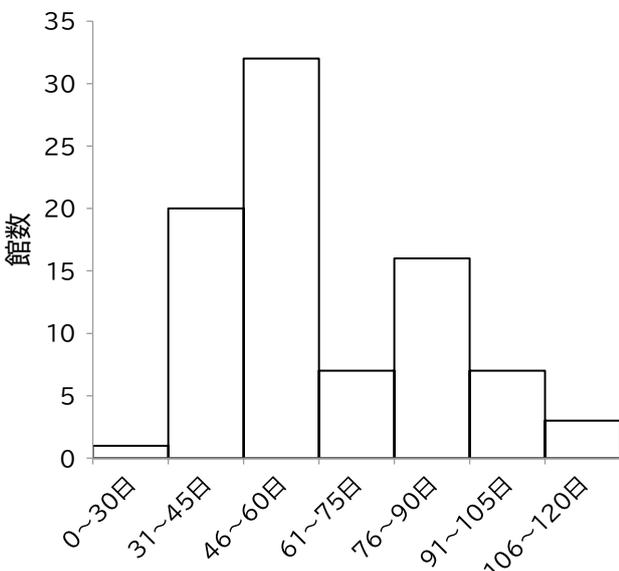


図1 兵庫県の博物館での臨時休館期間と館数。

「濃厚接触者への入館拒否または来館自粛要請」、「同一都道府県内・市町村内在住者限定での来館受入」、「高齢者・基礎疾患で感染リスクを心配する方への自粛要請」、「遠方居住者への自粛要請」の7つの対応がみられ、「体調不良・発熱する方の入館拒否」は再開した86館中62館が実施していた。

入館時の来館者への要請の項目では、「マスク着用」、「入口等でのアルコール手指消毒」、「入館時の連絡先聴取」、「検温の実施」、「ヘルスチェックシート提出の要請」の5つの対応がみられた。実施が多かった「マスク着用」、「入口等でのアルコール手指消毒」、「入館時の連絡先聴取」について、必須としていた館の割合は順に36%、21%、39%であった。

館内での来館者への要請の項目では、「ソーシャルディスタンスの呼びかけ」、「大声での会話の自粛要請」、「一般的感染症対策（手洗い・咳エチケット）の依頼」、「展示ケース等に触れない」、「順路に沿った観覧の要請」、「飲食の制限」、「滞在時間の上限設定」、「トイレの蓋を閉めて流す事を要請」、「マスクや鼻水・唾液付着ごみの廃棄の禁止」の9つの対応がみられ、「ソーシャルディスタンスの呼びかけ」は半数以上の館で実施されていた。

密集低減対策の項目では、「混雑時の入場制限」、「入館上限の公表」、「事前予約制の導入」、「整理券対応の一部実施」の4つの対応がみられた。

設備使用とサービスの制限の項目では「一部展示の閉鎖」、「イベント・ギャラリートーク等の休止」、「ハンズオン展示の休止」、「情報コーナー・図書等の休止」、「飲食店・自販機の休止」、「タッチパネル・VR・音声端末の休止」、「ショップ・物販 休憩コーナーの休止」、「クローカー・コインロッカーの休止」、「ハンドドライヤーの休止」、「休憩用ベンチの使用停止（一部撤去も含む）」、「ウォータークーラー使用停止」、「開館時間短縮」、「ゴミ箱撤去・使用停止」、「開館曜日の間引き」、「入館入口を限定」、「喫煙コーナーの休止」、「授乳室・おむつ交換台の使用休止」、「貸ベビーカーの休止」の18の対応がみられた。

密接低減対策の項目では、「職員マスク着用」、「受付等での飛沫シールド設置」、「職員定期的手洗い」、「トレーを介した物品受け渡し」、「座席を2m間隔に離す措置、または間引く措置」、「受付業務職員の手袋着用」、「代表者一括対応（金銭・物品授受）」、「職員フェイスシールド・ゴーグル・メガネ着用」、「フロアマーカース設置」、「職員定期的うがい」、「対面での問い合わせ・相談対応」の11の対応がみられた。

密閉低減対策の項目では「入口または窓の開放」、「換気扇の稼働・機械空調の適正運用（強制換気も含む）」、「エレベーターの使用制限（必要な人に限る）」の3つの対応がみられた。

感染源抑制の項目では「手すり等の消毒の実施」, 「消毒液の多数設置」, 「清掃強化」, 「スタッフの健康管理（検温等）」, 「ハンズオン展示の消毒」の5つの対応がみられた。

文 献

- 亀田高志 (2020) 【図解】新型コロナウイルス 職場の対策マニュアル. エクスナレッジ, 127p.
- 国立感染症研究所 (2019) 中東呼吸器症候群 (MERS) のリスクアセスメント (2019年10月29日現在), 9p.
[<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/mers/mers-ra-191029.pdf>] (2020年7月10日閲覧)
- 国立感染症研究所感染症疫学センター (2020) 注目すべき感染症 <新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)>. 感染症発生動向調査週報, 22巻23号, 8-11.
- 重松 美加, 岡部 信彦 (2005) 感染症の話 重症急性呼吸器症候群. 感染症発生動向調査週報, 7巻6号, 14-19.

付 記

- Facebook グループ ミュージアムの新型コロナウイルス対応情報共有 (2020年7月10日閲覧)
[<https://www.facebook.com/groups/JmuseumCOVID19/?ref=bookmarks>]

- Facebook グループ 博物館再開のための自然史系学芸員 Zoom 不定期ミーティング (2020年7月10日閲覧)
[<https://www.facebook.com/groups/164523641663792/?ref=bookmarks>]
- 兵庫県博物館協会 HP (2020年6月20日閲覧)
[<https://www.hyogo-c.ed.jp/~museum-ac/index.html>]
- 兵庫県新型コロナウイルスの対応について HP (2020年6月20日閲覧)
[<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>]
- ひょうごオープンデータカタログ (2020年7月9日閲覧)
[http://open-data.pref.hyogo.lg.jp/?page_id=141]
- 厚生労働省 HP オープンデータ PCR検査陽性者数 (2020年7月9日閲覧)
[<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>]
- 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策 HP (2020年6月20日閲覧)
[<https://corona.go.jp/>]
- NHK 特設サイト新型コロナウイルス (2020年6月20日閲覧)
[<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/chronology/>]
- 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」 (2020年5月4日) (2020年7月10日閲覧)
[<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000629000.pdf>]

表2 調新型コロナウイルス感染症拡大による兵庫県下の博物館 97 施設における臨時休館期間および再開館時の感染症対策
(…はWEB・SNS上で言及がなく、実施の有無は確認出来ていない事を示す)。

No.	施設名	臨時休館開始日	再開館日	休館日数	対策項目	入場時の制限							入館時の来館者への要請					
						体調不良・発熱する方への対応	団体受入	直近2週間以内の感染拡大国・地域渡航者	濃厚接触者の入館	同一都道府県内・市町村内在住者限定	高齢者・基礎疾患者で感染リスクを心配する方	遠方居住者	マスク着用	入口等でのアルコール手指消毒	入館時の連絡先聴取	検温対応	ヘルスチェックシート提出の依頼	
1	民音音楽博物館 西日本館	2月26日	休館継続中															
2	神戸大学海事博物館	2月29日	※ 休館継続中	※														
3	橋の科学館	2月29日	6月6日	98	…	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
4	アシックス スポーツ ミュージアム	2月29日	6月17日	109	拒否	休止	拒否	拒否	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
5	UCCコーヒー博物館	2月29日	※ 休館継続中															
6	一般財団法人 切手文化博物館	3月1日	6月1日	92	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	必須	必須	要請	必須	…
7	六甲山の上美術館「さわるみゅーじあむ」	3月1日	6月19日	110	…	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
8	神戸海洋博物館・カワサキワールド	3月2日	6月2日	92	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	必須	…	…
9	西脇市岡之山美術館	3月2日	6月2日	92	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	要請	要請	…
10	神戸ファッション美術館	3月3日	5月19日	77	拒否	…	…	…	要請	…	…	…	…	要請	要請	要請	要請	…
11	西脇市郷土資料館	3月3日	※ 6月2日	91	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	必須	…	…
12	西宮市立郷土資料館	3月3日	5月26日	84	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…
13	バンドー神戸青少年科学館	3月3日	6月1日	90	必須	休止	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	…	実施	…
14	神戸市水の科学博物館	3月3日	6月2日	91	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
15	にしわか経緯度地球科学館「テラ・ドーム」	3月3日	6月2日	91	拒否	…	…	…	…	実施	…	…	…	要請	要請	必須	…	…
16	神戸らんがミュージアム	3月3日	7月1日	120	拒否	休止	拒否	…	…	…	…	…	…	要請	要請	要請	実施	…
17	西宮市貝類館	3月4日	5月25日	82	拒否	…	拒否	…	…	…	…	…	…	要請	要請	必須	実施	…
18	兵庫県立考古博物館	3月4日	6月2日	90	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	必須	必須	…
19	姫路市書写の里・美術工芸館	3月5日	5月12日	68	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	要請	実施	…
20	孫文記念館(移情閣)	3月5日	※ 5月29日	85	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	要請	要請	…
21	姫路科学館	3月5日	6月1日	88	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	必須	必須	必須	…
22	姫路文学館	3月5日	6月2日	89	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	要請	要請	…
23	稲美町立郷土資料館	3月5日	※ 6月2日	89	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	要請	要請	要請	実施
24	公益財団法人 竹中大工道具館	3月7日	5月28日	82	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	要請	必須	…	…	要請
25	上郡町郷土資料館	3月7日	6月3日	88	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	必須	必須	…	…
26	伊丹市昆虫館	3月8日	6月3日	87	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	必須	…	要請	…	…
27	うすくち龍野醤油資料館	3月9日	6月2日	85	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
28	伊丹市立博物館	3月10日	※ 5月19日	70	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	…	…	要請	…
29	太子町立歴史資料館	3月10日	5月30日	81	拒否	休止	拒否	…	…	…	…	…	…	要請	要請	要請	要請	…
30	芦屋市立美術館	3月12日	6月2日	82	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	必須	要請	…	…
31	兵庫陶芸美術館	3月20日	5月26日	67	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	要請	必須	実施	…
32	兵庫県立美術館「芸術の館」	3月20日	5月28日	69	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	必須	…	要請	必須	…
33	兵庫県立歴史博物館	3月20日	6月2日	74	拒否	休止	…	…	…	拒否	…	…	…	要請	要請	要請	要請	…
34	兵庫県立人と自然の博物館	3月24日	6月2日	70	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	必須	…	必須	必須	…
35	世良美術館	4月4日	※ 6月3日	60	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
36	養父市立大庄屋記念館	4月6日	※ 6月1日	56	※コロナ対策記述なし	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
37	日本玩具博物館	4月7日	5月23日	46	…	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	要請	…	…	…
38	公益財団法人 俵美術館	4月7日	※ 5月23日	46	拒否	…	拒否	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	要請	…
39	兵庫県立円山川公苑美術館	4月7日	6月1日	55	要請	…	要請	要請	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
40	KOBEとんぼ玉ミュージアム	4月8日	5月19日	41	…	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
41	公益財団法人 白鶴美術館	4月8日	5月19日	41	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
42	公益財団法人 霞城館・矢野勘治記念館	4月8日	※ 5月19日	41	拒否	…	…	…	…	実施	…	…	…	要請	要請	要請	…	…
43	公益財団法人 香雪美術館	4月8日	5月23日	45	拒否	…	…	…	…	拒否	…	…	…	要請	要請	要請	要請	要請
44	六甲オルゴールミュージアム	4月8日	5月30日	52	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	要請	…	必須	…
45	尼崎信用金庫 世界の貯金箱博物館	4月8日	※ 6月2日	55	拒否	休止	…	…	…	…	…	…	…	必須	要請	必須	…	…
46	兵庫県 木の殿堂	4月8日	6月2日	55	※コロナ対策記述なし	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	要請	必須	…	…
47	神戸華僑歴史博物館	4月8日	6月2日	55	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	必須	要請	必須	…	…
48	篠山能楽資料館	4月8日	※ 6月2日	55	…	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	必須	…	…
49	丹波古陶館	4月8日	※ 6月2日	55	…	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	必須	…	…
50	三木美術館	4月8日	※ 6月3日	56	拒否	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…
51	美味伝承 甲南漬資料館	4月8日	7月1日	84	※コロナ対策記述なし	…	…	…	…	…	…	…	…	要請	要請	…	…	…

表2 つづき

No.	館内での来館者への要請							密集低減対策			設備使用とサービスの制限										職員マスク着用							
	ソシヤルディスタンスの呼びかけ	大声での会話の自粛	一般的な感染症対策の依頼（手洗い・咳エチケット）	展示ケース等に触れない	順路に沿った観覧	飲食禁止	滞在時間の上限設定	そのほか	混雑時入場制限	入館上限の公表	そのほか	一部展示の閉鎖	イベント・ギャラリートーク等	ハンズオン展示	情報コーナー・図書	飲食店・自販機	タッチパネル・VR・音声端末	シヨップ・物販	休憩コーナー	クローク・コインロッカー		ハンドドライヤー	休憩用ベンチの使用停止（一部撤去も含む）	ウオータークーラー使用停止	開館時間短縮	ゴミ箱撤去・使用停止	そのほか	
1																												
2																												
3
4	あり
5																												
6	あり	要請
7
8	要請
9	あり	要請	要請
10	あり	要請	要請
11	あり
12	あり	...	要請
13
14
15
16	あり	要請	要請
17	あり	要請	要請
18	あり	要請	要請
19	あり	要請	要請
20
21	あり
22
23	あり
24	あり	要請	要請	要請
25	あり	要請	...	要請	要請
26	あり	...	要請
27
28
29	あり	要請	要請
30	あり
31	あり	要請
32	あり	要請	要請	要請
33	あり	要請	...	要請
34	あり	要請	要請
35	要請
36
37
38	あり	...	要請
39	あり	...	要請
40	あり	要請
41	あり
42
43	あり	要請
44	あり	要請	要請
45	要請	必須	要請
46
47	あり
48	あり
49	...	要請
50
51

表2 つづき

No.	密接低減対策										密閉低減対策			感染源抑制					W E B 確 認 日	備 考
	受付等での飛沫シールド設置	職員定期的手洗い	トレーを介した物品受け渡し	座席を2m間隔に離す、または間引く	受付業務職員の手袋着用	代表者一括対応(金銭・物品授受)	職員フェイスシールド・ゴーグル・メガネ着用	フロアマーカー設置	職員定期的うがい	対面での問い合わせ・相談対応	入口または窓の開放	エレベーターの使用制限(必要なら人に限る)	換気扇の稼働・機械空調の適正運用(強制換気も含む)	手すり等の消毒	消毒液の多数設置	清掃強化	ハンズオン展示の消毒	スタッフの健康管理(検温等)		
1																		6月20日		
2																		6月26日		
3	6月25日		
4	...	実施	6月21日		
5																		6月21日		
6	実施	実施	実施	実施	6月20日		
7	6月25日		
8	実施	...	実施	6月20日		
9	6月25日		
10	実施	...	実施	6月25日	段階的に施設開館している(5/19展覧会のみ、6/16ライブラリー再開)	
11	6月25日		
12	6月21日		
13	実施	実施	6月25日	プラネタリウムのみ開館	
14	6月20日		
15	6月25日		
16	...	実施	6月26日		
17	6月21日		
18	6月21日		
19	6月25日		
20	6月21日		
21	6月25日	プラネタリウムのみ開館	
22	実施	...	実施	6月21日		
23	6月25日		
24	実施	実施	実施	6月21日		
25	6月25日		
26	実施	6月25日		
27	6月21日		
28	6月21日		
29	実施	実施	6月21日		
30	6月21日		
31	実施	実施	6月25日	2/26 から3/6はメンテナンス休館。3/7から3/15も臨時休館。	
32	実施	実施	実施	6月25日	3/4から3/15も臨時休館	
33	実施	6月21日	3/4から3/15も臨時休館	
34	実施	6月21日	3/4から3/15も臨時休館	
35	6月25日		
36	6月25日		
37	実施	6月21日		
38	6月25日		
39	6月25日		
40	6月21日		
41	6月25日		
42	6月25日	6/1から9/30まで改修工事のため臨時休館	
43	6月25日		
44	実施	6月20日		
45	6月21日		
46	6月25日		
47	6月20日		
48	7月4日		
49	7月4日		
50	6月25日		
51	7月4日		

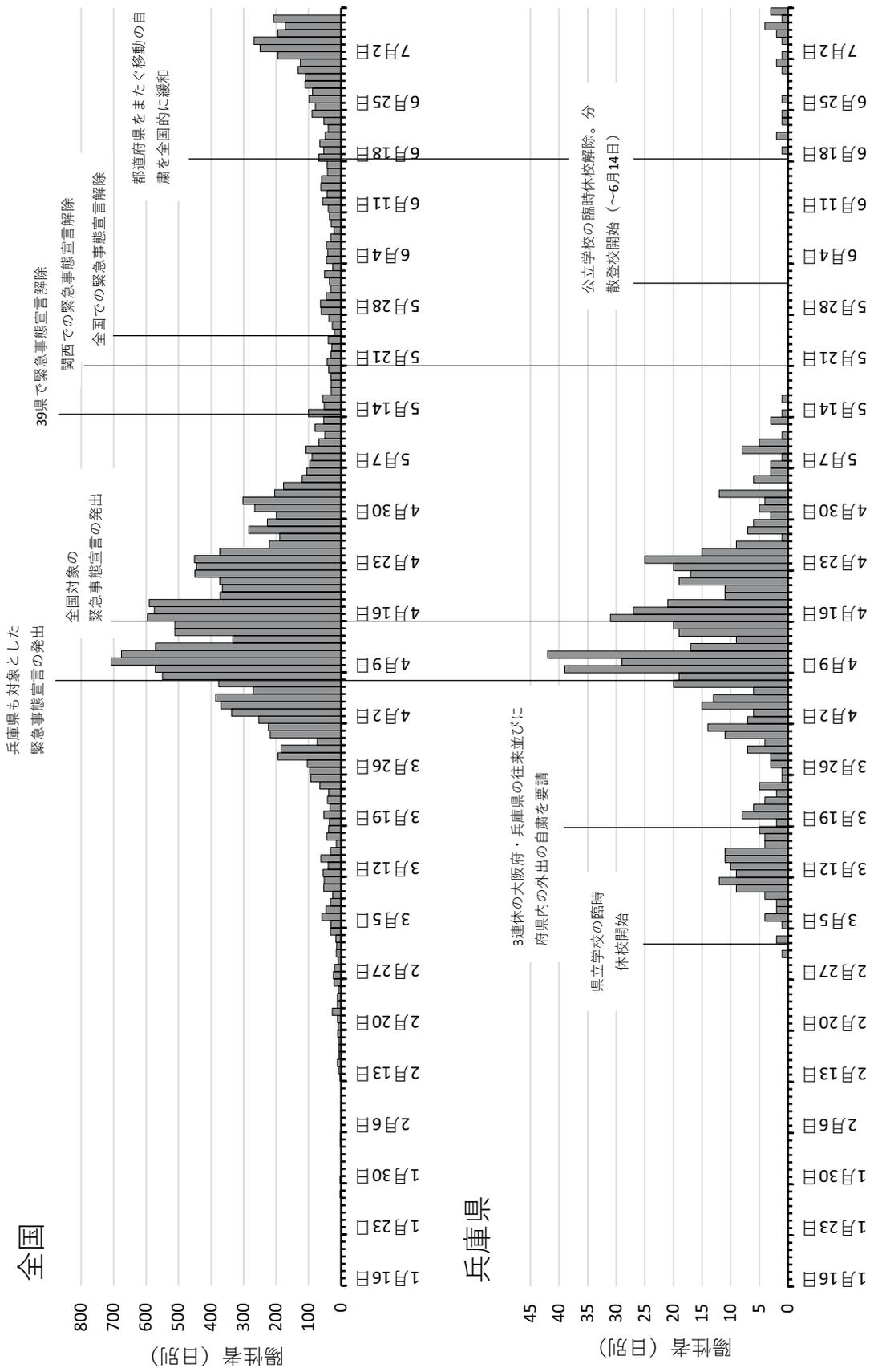
表2 つづき

No.	館内での来館者への要請							密集低減対策			設備使用とサービスの制限											職員マスク着用						
	ソールシヤルディスタンスの呼びかけ	大声での会話の自粛	ト一般的感染症対策の依頼(手洗い・咳エチケット)	展示ケース等に触れない	順路に沿った観覧	飲食禁止	滞在時間の上限設定	そのほか	混雑時入場制限	入館上限の公表	そのほか	一部展示の閉鎖	イベント・ギャラリートーク等	ハンズオン展示	情報コーナー・図書	飲食店・自販機	タッチパネル・VR・音声端末	シヨップ・物販	休憩コーナー	クローク・コインロッカー	ハンドドライヤー		休憩用ベンチの使用停止(一部撤去も含む)	ウォータークーラー使用停止	開館時間短縮	ゴミ箱撤去・使用停止	そのほか	
52	
53	
54	
55	
56	あり	...	要請	
57	
58	
59	あり	要請	
60	あり	要請	要請	
61	あり	要請	要請	
62	あり	要請	
63	あり	要請	
64	あり	要請	
65	あり	要請	
66	
67	あり	
68	あり	
69	あり	要請	
70	
71	
72	あり	要請	
73	...	要請	
74	
75	あり	
76	...	要請	要請	
77	
78	
79	あり	
80	あり	要請	要請	
81	
82	
83	あり	
84	
85	あり	...	要請	
86	
87	あり	...	要請	
88	
89	
90	
91	あり	
92	
93	
94	
95	
96	
97
	48	29	25	5	4	4	4	1	35	10	2	17	14	7	6	6	6	3	3	3	3	2	2	5	2	4	27	

表2 つづき

No.	密接低減対策							密閉低減対策			感染源抑制					WEB 確認日	備考			
	受付等での飛沫シールド設置	職員定期的手洗い	トレーを介した物品受け渡し	座席を2m間隔に離す、または間引く	受付業務職員の手袋着用	代表者一括対応(金銭・物品授受)	職員フェイスシールド・ゴーグル・メガネ着用	フロアマーカー設置	職員定期的うがい	対面での問い合わせ・相談対応	入口または窓の開放	換気扇の稼働・機械空調の適正運用(強制換気も含む)	エレベーターの使用制限(必要なら人に限る)	手すり等の消毒	消毒液の多数設置			清掃強化	スタッフの健康管理(検温等)	ハンズオン展示の消毒
52																		6月21日		
53	6月21日	
54	6月25日	
55	6月21日	
56	6月25日	
57									休止									6月25日		
58																		6月25日		
59	実施	実施	6月25日		
60	6月25日		
61	6月21日		
62	6月21日		
63	6月25日		
64	6月25日		
65	実施	実施	6月25日		
66	6月21日		
67	6月21日		
68	6月21日		
69	6月25日		
70	6月21日		
71	6月21日	3/14から3/31も臨時休館	
72	6月25日		
73	6月25日	3/6から3/19も休館	
74	6月25日		
75	実施	実施	実施	実施	実施	実施	...	6月25日		
76	...	実施	実施	6月25日		
77	6月25日		
78	6月25日		
79	6月25日		
80	6月25日		
81	6月25日		
82	6月25日		
83	7月4日		
84	6月21日		
85	6月21日		
86	6月25日		
87	6月25日	展望室は5/20から先行開放	
88	6月21日		
89	6月25日		
90	6月25日		
91	実施	6月25日	リニューアル休館(1/27から4/23)を延長	
92	6月25日		
93	6月25日		
94	6月25日		
95	6月25日		
96	6月21日		
97	6月21日		
	17	9	7	7	4	3	3	2	2	1	16	8	3	25	19	16	11	2		

付図 新型コロナウイルス感染症PCR検査陽性者数（単日）の時系列変化（全国および兵庫県）
 全国：厚生労働省HPオープンデータ PCR検査陽性者数 を元に作成。
 兵庫県：ひょうごオープンデータカタログを元に作成。



付表 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、国内外、兵庫県内および兵庫県立人と自然の博物館の動向（時系列）
NHK 特設サイト、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策 HP、兵庫県新型コロナウイルスの対応について HP を元を作成。

年	月	日	世界	国内	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館
2020	1	6	中国 武漢で原因不明の肺炎 厚労省が注意喚起			
		14	WHO 新型コロナウイルスを確認			
		16		日本国内で感染者初確認 武漢に渡航歴の中国籍男性		
		19	中国国営 新華社通信「ヒトヒト感染リスク低い」と報道			
		20	中国 深センで1人 北京で2人の感染確認 武漢以外では初			
		21	WHO 「ヒトからヒトへの感染が見られる」と発表			
		23	武漢 感染拡大防止のため「封鎖」 WHO 「国際的な緊急事態にはあたらない」と発表			
		28			県 新型コロナウイルス感染症警戒本部の設置	
		29		武漢からのチャーター機第1便 羽田到着		
		30	WHO 「国際的な緊急事態」を宣言	政府 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置・開催		
		31		政府 中国 湖北省に滞在歴のある外国人の入国拒否を決定		
2	1			新型コロナウイルスによる感染症が「指定感染症」となり政令施行される		
	3			乗客の感染が確認されたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に入港		
11	WHO 新型コロナウイルスを「COVID-19」と名付ける					
	13			国内で初めて感染者死亡		
	16			国 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（第1回）を開催		
	17			厚労省 受診・相談の目安を公表		
	24			国の専門家会議が「今後1～2週間が瀬戸際」の見解発表		
	25			政府 基本方針を決定 厚労省 「クラスター対策班」設置		
	27			政府 3月2日から全国すべての小中高校に臨時休校を要請		3月開催のセミナーを順次中止することを決定

付表 つづき

年 月 日	世界	国内	兵庫県	兵庫県人と自然の博物館
28		北海道知事 独自に「緊急事態宣言」。2月28日から3月19日までの週末の外出の自粛要請など		
3	1		県内で初の感染者を確認 県 新型コロナウイルス感染症対策本部の設置 知事メッセージ「発熱等の風邪症状がみられる場合の外出自粛要請」	
3		経産相がトイレットペーパー在庫が十分であること に言及	県立学校の臨時休業(～3月15日)が始まる	臨時休館を決定 (3月4日から15日)
5		北海道博 「おうちミュージアム」運動を全国の博物館に呼びかけ ※1		
6				家庭学習支援のためのデジタルコンテンツ「ひととくキッズのお道具箱」をHPで公開開始
9		専門家会議「密集・密接・密閉の3条件が重なる環境を避けて」と呼びかけ		
10		イタリア全土で移動制限を開始	政府 「歴史的緊急事態」指定を閣議決定	
11	WHO	定例会見でパンデミックとの評価を公表	県内で新型コロナウイルス感染での死亡者を初確認	
12		ドイツ文化大臣が文化施設と芸術家に支援を約束する声明を発表 ※2	県 県立学校の臨時休業の延長(～3月23日)を決定	
13				再開館時の対応を公表 (展示鑑賞のみの再開、イベント中止など)
17		フランス全土で外出制限開始		臨時休館を解除し、再開館
19			「感染拡大地域では自粛検討を」専門家会議が提言 との往来、外出や会合の自粛要請 「集客イベントの中止・延期等の要請」	
20		大阪府 3連休の大阪府・兵庫県の往来並びに府県内の外出の自粛を要請		
22	米ニュー	ヨーク州で外出制限開始		午後より臨時休館 (～3月24日)を開始
24		東京五輪・パラリンピック 1年程度延期に		臨時休館の延長 (～3月31日)を発表
26		政府 新型コロナウイルス対策特措法に基づく対策本部設置		
27		文化庁長官が「文化芸術に關わる全ての皆様へ」のメッセージを発表 ※3	県 LINE公式アカウント「兵庫県-新型コロナウイルス対策バージョンサポート」を開設	臨時休館の延長 (～4月7日)を発表

付表 つづき

年	月	日	世界	国内	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館
4	3			政府 「全世界からの入国者に2週間の待機要請」開始	県 当面の対処方針を発表。県立学校は学区ごとの状況に合わせて段階的に再開を示す	臨時休館の延長（～4月30日）と4月開催セミナー・イベントの中止を発表
5				英首相が感染のため入院		
6				首相 4月7日からの緊急事態宣言の発出について発表（期間は5月6日までとした）	県 但馬地域以外の県立学校について4月19日までの臨時休業を発表	
7				7都府県に緊急事態宣言 「人の接触 最低7割減」8割削減を」など要請	兵庫県が緊急事態措置実施区域に指定される 県 対処方針を発表。全県での県立学校の臨時休業を決定	
11				国内の感染者 1日の人数としてはこれまでに最多の700人超		
				首相 7都府県の企業に「出勤者7割減」を要請するよう指示		
12					県 当面の対応を発表。繁華街の接客を伴う飲食店、カラオケ等の利用を控えるなど要請	
13					県 新型コロナウイルス感染症に係る休業要請等 のお願いを事業者へ通知	
					県 対処方針を改定。県立学校の臨時休業を5月6日まで延長を決定	臨時休館の延長（～5月6日）が決定
14						館員8割の在宅勤務を開始
16				「緊急事態宣言」全国に拡大（期間は5月6日まで）。13都道府県は「特定警戒都道府県」に	特定警戒都道府県に指定される	
18				国内の感染者 1万人を超える（クルーズ船除く）		
24				西村内閣府特命担当大臣、記者会見質疑応答にて文化・芸術に従事する人々への支援の必要性について言及※4	県 対処方針を改定	「ひとはくデジタルアーカイブ」のHP公開開始
28				国際美術館会議（CIMAM）が美術館における新型コロナウイルス感染症対策についての文書を公表※5 西村内閣府特命担当大臣、記者会見質疑応答にて文化・芸術を含む各業種の活動の持続化への支援を政府の最優先課題の一つであることに言及※6	県 対処方針を改定県立学校の臨時休業を5月31日まで延長することを決定	
5	4			政府 「緊急事態宣言」 5月31日まで延長 専門家会議「新しい生活様式」の実践例示す	県 対処方針を改定	臨時休館の延長（～5月31日）が決定
7				国内の感染者 1日の人数が100人下回る		
12				国際美術館会議（COM）が再開しようとする美術館・博物館のための新型コロナウイルス基本的な対策についての文書を公表※7		

付表 つづき

年 月 日	世界	国内	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館
5 14		政府 緊急事態宣言 39県で解除。8 都道府県は継続	県 対処方針を改定。社会教育施設について西播磨、但馬、丹波地域においては、感染状況等を踏まえ、5 月 18 日以降、順次開館することなどを決定	
		公益財団法人日本博物館協会が博物館における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを公表※		
8				
15			県 対処方針を改定。公立学校を6月1日から臨時休業解除などを決定	
17			県内での陽性者が確認されなくなる（～6月18日）	
20		夏の全国高校野球 戦後初の中止決定		
21		緊急事態宣言 関西は解除。首都圏と北海道は継続	緊急事態宣言 兵庫県は解除される	
			県 対処方針を改定。自粛要請の段階的緩和。公立学校は6月1日から14日については分散登校期間に設定	
25		緊急事態宣言 全国で解除		
		政府 外出自粛の段階的緩和の目安を発表		
27				6月2日からの開館が決定
6 1		政府 一部首都圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）、北海道との間の不要不急の県をまたぐ移動を除き、外出自粛を緩和		知事メッセージ「6月18日まで首都圏・北海道・館員の在宅勤務命令を解除し、通常勤務体制に移行
			公立学校 臨時休業を解除し分散登校（～6月14日）を開始	
2		初の「東京アラート」都民に警戒呼びかけ		様々な対策・制限を設け再開館
6				入口にサーモグラフィが設置される 再開館後初の野外セミナーを実施 再開館後初の室内セミナーを実施
12				
15			公立学校 通常授業を再開	
16				You Tubeを用いたセミナー動画配信「ひととはくWEBセミナー」を開始
18			知事メッセージ「東京都など人口密集地との不要不急の往来や、最近クラスターとなった店舗等への出入りの自粛」など	
19		政府 都道府県をまたぐ移動の自粛を全国的に緩和	県内での陽性者を確認	

※1 <http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/post/news/detail13209/>

付表 つづき

- ※2 <https://www.bundesregierung.de/breg-de/bundesregierung/staatsministerin-fuer-kultur-und-medien/aktuelles/coronavirus-kulturstaatsministerin-verspricht-kultureinrichtungen-und-kuenstlern-unterstuetzung-gruetters-auf-unverschuldete-notlagen-und-haertefaele-reagieren--1729916>
- ※3 https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/20032701.html
- ※4 https://www.cao.go.jp/minister/1909_y_nishimura/kaiken/20200424kaiken.html
- ※5 <https://cimam.org/news-archive/precautions-museums-during-covid-19-pandemic/>
- ※6 https://www.cao.go.jp/minister/1909_y_nishimura/kaiken/20200428kaiken.html
- ※7 <https://icom.museum/en/news/museums-and-end-of-lockdown-ensuring-the-safety-of-the-public-and-staff/>
- ※8 <https://www.j-muse.or.jp/02program/pdf/coronakaijyo0526.pdf>（初版は削除され改訂版が掲載されている 2020.6.21確認）